

NKE社長 中村 道一氏



一 経営環境は。

化機器など順調な受注

「売上高が前年比で2、3割減という厳しい落ち込みを経験したが、ようやく底を打ち上昇に転じてきた。コンベヤーなど搬送機器をはじめ自動化・省力化は、一これからの成長戦略だ」

・出荷が続いている。海外では中国は8月からフル稼働に入り、タイは現地活動が始まつた

略
は。

「まずは営業活動を強化し、顧客とのコンタクトを増やしたい。過去の実績などを参考に顧客リストを作成、電話やオンラインなどで営業活動を行つてお

事業活動上昇に転じる

り、少しづつ成果も表

す。

り、少しづつ成果も表された。新型コロナでオンラインへの抵抗が小さくなり、営業の生産性も上がっている。一方、サイズ変更など標準機器を少しカスタムする『ちよい特』の設計自動化を構築している。納期短縮のほか、設計技術者をさまざまな開発に振り向けることができ営業支援に役立つ」

「新製品も順調でが寄せられている」

「腰背部サポート」「腰助くん」はスポーツや医療現場で普及が進んでいる。現在、医療機関との共同開発で新製品投入も計画している。簡易メール通報機器『れんら君』はシリーズ最新の『CO₂ ガス検出器』が話題だ。二酸化炭素濃度で密状態を遠隔判定でき、さまざまな施設から相談